

復興推進委員会では、復興施策の実施状況（その加速化）について、意見をいただくとともに、『新しい東北の創造』について、調査・審議。

新しい東北の創造とは、「最低限の生活再建」とどまることなく、**創造と可能性の地としての「新しい東北」をつくりあげる**というもの。基本方針（H24.12.26閣議決定）等に沿って、検討を行う。



- 目的
 - 今の日本が抱える人口減少、高齢化、産業の空洞化などの課題、世界のモデルとなる持続可能なエネルギー社会など、創造と可能性ある未来社会の創造を目指す。
 - 21世紀前半を展望しつつ、被災地の復興を進める中で、『新しい東北』を創造するための具体的な政策を検討。
- 検討の方向
 - 地域の将来像について、次に掲げる**5つの柱を中心に**、検討を実施。
 - ① 元気で健やかな**子供の成長**を見守る安心な社会、
（子供の元気回復、運動支援、世界レベルの文武両道 等）
 - ②「高齢者標準（低下した高齢者の身体・認知機能を標準とする）」による**活力ある超高齢社会**、
（アクティブエイジング、医療介護連携、電子カルテ等の活用 等）
 - ③持続可能なエネルギー社会（**分散型自律エネルギー社会**）、
（新エネルギーシステム、スマートシティ・スマートグリッド、自然エネルギーの活用 等）
 - ④頑健で高い回復力を持った**社会基盤(システム)の導入**で先進する社会、
（ハードとソフトが一体となった減災対策、コンパクトシティ、ダイヤモンドバス、長寿命化 等）
 - ⑤高い発信力を持った**地域資源**を活用する社会、
（観光、食品（農林水産・加工）、個性的なメーカー、新たな被災地での取組 等）
- 検討の進め方
 - 5つのテーマについて、復興大臣も参加する懇談会を設け、各分野の有識者との意見交換を実施。
 - その成果について、復興推進委員会に報告し、審議。
- スケジュール
 - 6月末を目途に、「新しい東北」の目指すべき姿について、中間的な取りまとめ。
 - その後、政策の具体化に向けた検討を進め、25年度末を目途に、「新しい東北」について、提言をとりまとめ。